

総合学習センターだより

No.44

平成22年(2010)12月15日発行

発行・編集：総合学習センター

公民館報 NO.654

図書館だより NO.381

飯山市の歴史



闇夜を切り裂いた木島隕石

明治39(1906)年6月15日夜、木島に落下した隕石は、目撃者の詳細な日記のおかげで落下時の様子やその後の状況がわかる貴重な隕石です。木島1号(写真右)は49g、2号(写真左)は282gの重さがあります。

日記には、西南の空から電光の様に青みを帯びたものがゴーツという響きと共に飛んできて空中で爆発し、7、80個の塊となって落下したと記されています。

飯山公民館 電話：62-3342
FAX：62-5940
秋津公民館 電話/FAX：62-2330
木島公民館 電話/FAX：62-0555
瑞穂公民館 電話/FAX：65-2501
柳原公民館 電話/FAX：62-5562
富倉公民館 電話：67-2136
FAX：67-2211
外様公民館 電話/FAX：62-1029
常盤公民館 電話/FAX：62-3200
太田公民館 電話/FAX：65-4579
岡山公民館 電話：69-2010
FAX：69-1800

富倉新そば祭り

富倉公民館



多くのご来場・ご協力ありがとうございました

毎年恒例の富倉新そば祭りが11月14日(日)に開催されました。今回は何とか富倉を盛り上げようと地元女性グループによる「昔のおやつ」を再現した料理や漬物の販売、倉本鉱泉の足湯など様々な趣向を凝らしたイベントで富倉をアピールしました。

また恒常的に続く人手不足や元気を取り戻そうと「雪ほりとうど塾」で富倉を訪れた淑徳大学の学生10名がイベントや販売などをサポート、また、春からテント立てをお願いしている地元建設会社にも今回も協力いただきました。

例年行われている「ざるそば」販売や「利きそば大会」「そば打ち実演」などの各種イベントも好評で大勢の方に「富倉の秋」を満喫していただきました。

「新そば祭りに参加して」

淑徳大学 国際コミュニケーション学部 准教授 小倉 常明

今年の2月上旬、以前から参加させてもらっていた長野県社会福祉協議会・飯山市社会福祉協議会共催の「雪ほりとうど塾」(雪かきボランティアの養成講座)が、富倉で開催され、それに参加したときに、「地域のまつりに、学生たちにも参加してもらえませんか」と声をかけていただきました。東京、埼玉に住む学生たちには「田舎の限界集落」といってもピンとこないの、実際そこに足を運び、肌で感じてもらう、2年生のゼミの学生を誘い、今回参加させていただきました。

初体験の餅つきから始まり、新そば、おでん、ゲーム、イベント、足湯、

釣り堀等に配置させてもらい、お手伝いをさせていただきました。学生からは「声をかけてもらってうれしかった」「とても良くしてもらった」と、普段、大学では見られないような表情、感想を見聞きすることができました。今回の活動がとても良い体験になったようでした。

参加にいたるまでにいろいろと調整をしてくださった柳所長、よそ者である私たちを温かく迎えてくださった富倉の住民のみなさん、本当にありがとうございました。

また、機会があれば訪ねさせていたきたいと思います。

「なんで、ここが天然記念物なんだサ？」 技術継承と最新知識を身に付け100年先を考えよう

黒岩山講演会

市教育委員会では、国の天然記念物「黒岩山」についての講演会を11月27日に外様地区活性化センターで開き、信州大学教育学部の井田秀行先生に講演いただきました。その一部をお伝えします。

生物界は飛行機と同じ

生物の世界は、飛行中の飛行機に例えることができる。どんな小さな部品の欠落でも最悪の場合、墜落につながりかねない。人間の生活に役に立たない生物は消えても構わないという考え方があがるが、影響はどこに現れるか分からない。昔は生物界を食物連鎖という鎖のつながりで表していたが、今は「ウェブ」の網の目と表現することが多い。

名古屋で開かれたCOP10により、SAITOYAMA(里山)という言葉は、国際的に認知さ

れた。しかし、人と山が関わりて育んできた里山と人のバランスが崩れてきている。

ナラ枯れと熊出没の原因

最近多く見られるナラ枯れの被害は、地元の古文書を調べたところ、江戸時代にも発生していたことが分かった。しかし、その発生エリアは限定的で、わずかな木々に限られていた。今ナラ枯れは日本海側の里山に大規模に発生している。ナラ枯れは、太いナラに限られており、人が山でナラを伐採しなくなつたことがナラ枯れを引き起こしていると言える。

寄せ付けなために、山と里の境に電気柵を設けて効果を挙げている県内の地域の記事があった。熊や山の側からみれば、人間が柵に囲まれた生活をするようになったとも言え、この状態は、人にとっても山にとってもたいへん不幸な状態だ。

環境問題と企業

今後は、世界的に見れば、環境問題に関心を持たない企業は生き残っていけないだろう。地域が黒岩山の保全により力を入れることで、それを支援する企業が今後現れる可能性はある。国内企業とは限らない。黒岩山の「国の天然記念物」という「看板」は保全対象になりやすいというメリットがある。ただ、その「看板」だけでは支援は得られないだろう。

今後の3つの指針

ずっと後の世界のことには誰にも分からないが、生活する上で何を考え行動していくべきか。

① 私たちが今なすべきことは、1年配者の話を聞くこと、特に山の管理について技術的な面の話をよく記録に留めておくこと。

② また、新しい技術や知識を身に付けること。

③ そして、自分の孫の世代(100年先)のことを考えながら行動を起こしていくことではないだろうか。

美術館情報ギャラリー企画展開催報告

「城南・城北中学校美術部展」

11/13
～12/19

今年4月、新たにスタートした城南中学校と城北中学校の美術部の皆さんの作品展が無事に終了しました。

両校の美術部員を併せて52名の作品約100点を展示しましたが、出品者のご家族やお友達が来館され、日ごろの活動の成果をご覧いただくことができました。

美術部の皆さんにとって、いろいろな人から自分の作品についての感想などを聞くことができる良い機会となつたようです。「今度はこうしてみたい」という気持ちを大切にしながら、これからも創作活動を続けてほしいと思います。



右の写真：美術部展テブカットの様子。
左から、城南中美術部顧問 高山顕光先生、城南中美術部代表 千野美咲さん、清水侃美術館長、城北中美術部代表 上野由希菜さん、城北中美術部顧問 吉越洋一先生

飯山市成人式協力員大募集！

成人式を自分たちでプロデュースしてみませんか？

平成23年度飯山市成人式(8月15日開催予定)に先立ち、成人式該当者(H24・25・H34・1生)の皆様の中より協力員を募集いたします。(詳しくは飯山市公民館 ☎023342まで)

書道サークル(公民館利用団体)

「李京会」十二周年記念作品展

会員による古典の臨書作品を展示。
市民ギャラリー(図書館・公民館連絡通路)で12月25日まで。



「黒岩山は日本のお宝だ」
と解説する井田秀行先生

また、熊の出没が相次いでいる。人が暮らしのために山に入らなくなり、里山が豊かになりすぎた。その豊富な餌を求めて熊が出没するようになった。

檻に囲まれ生活する人間
新聞に、熊を